

## 2013 年度「日本女性学習財団賞」レポート募集要項

1. 趣 旨 男女共同参画社会実現のために、社会・地域・家庭の中でさまざまな困難や課題を乗り越えてきた過程をふり返った実践・研究レポートを募集し、日本女性学習財団賞として優秀作を表彰する。  
※レポートの内容は、社会教育・生涯学習活動、女性運動、NPO および NGO 活動、地域活動、家庭生活、職業生活、震災経験や復興に向けた営みなど、幅広い領域を対象とする。
2. 賞 及 び 副 賞 日本女性学習財団賞  
大 賞 1 篇 副賞 20 万円  
奨励賞 2 篇 副賞各 10 万円  
※該当のない場合もある。
3. 応 募 資 格 趣旨に関心をもつ個人及びグループ（性別・国籍を問わず）
4. 応 募 規 定 (1)未発表のものであること  
(2)使用言語は日本語であること  
(3)レポート枚数  
※いずれの場合も、年表、図表、見出し、小見出しを含める。  
パソコン（ワープロ）・・・A4 判用紙・横書 1 ページ 40 字×30 行 10～17 枚  
手書き・・・・・・・・・・400 字詰原稿用紙 30～50 枚  
黒インクまたは黒ボールペンをうい楷書で書くこと。  
(4)本文と別に目次をつけること。  
(5)他の著書・論文・HP 等引用した場合は出典、参考文献がある場合は書名・著者名・出版社名・刊行年・参考ページを明記すること。  
(6)所定の応募用紙に必要事項を記入し、同封すること  
※応募用紙は財団に請求。財団HPからのダウンロードも可。  
○応募レポートは返却しない。（必要があれば各自コピーをとること）  
○受賞レポートの著作権は本財団に帰属する。  
○レポートは公開を前提とし、個人情報の保護には十分配慮する。  
○受賞者氏名・所属・住所の一部（都道府県まで）は公表する。
5. 締 切 2013 年 9 月 30 日（月）（当日消印有効）
6. 提 出 方 法 郵送またはEメール添付ファイル ※ファックスでの応募は受け付けない。  
および提出先 公益財団法人日本女性学習財団 日本女性学習財団賞係  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館  
E-mail jawe@nifty.com
7. 選 考 委 員 委員長 足立 則夫 ジャーナリスト  
委 員 大島 英樹 立正大学法学部准教授  
辻 智子 北海道大学教育学部准教授  
平井 和子 女性史研究者  
大野 曜 本財団理事長
8. 選 考 基 準 (1)男女共同参画社会の実現に向けた実践や研究を自らの視点でまとめたものであること  
(2)男女平等に向けての視点やジェンダー問題の視点に立っていること  
(3)人権を守り育てる視点に立っていること  
(4)創造性、独自性があること

- (5) 論理性、説得力があること
- (6) 正確なデータに基づき、実証的であること
- (7) 社会・歴史の中での位置づけ、あるいは国際的な課題との関係が総合的に考察されていること

- 9. 選考結果通知 2013年12月中旬、郵送にて応募者全員に通知。また、応募規定を満たし選考対象となったレポートには、選考委員の講評（400字程度）を同封する。
  
- 10. 贈呈式  
および報告会 日 時 2014年2月15日（土）午後  
会 場 未定
  
- 11. 記 録 集 受賞レポート、贈呈式および報告会、説明会等、本事業の年間記録を冊子にまとめ、配付・販売する。
  
- 12. 応募説明会 事務局による募集に関する説明と質疑応答。  
当日の内容は財団HPに掲載し、応募者全員が共有できるよう努める。  
日 時 2013年6月21日（金）午後1時半～3時  
会 場 日本女子会館5F会議室  
定 員 20人  
資料代 1,000円（受賞レポート集）。